サポート情報記事

List Filter Online でフィルターを保存し、フィルター済みビューのリンクを共有する

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

保存済みフィルター メニュー 4

現在のフィルターを保存する 5

プリセットの保存場所 6

フィルターへのリンクをコピーする 7

前回のフィルターを記憶する 8

List Filter で開く コマンドで作成されるリンク 9

用語 11

はじめに

List Filter Online では、大きなリストから必要な少数の項目にすばやく絞り込めますが、4〜5 個の条件からなるフィルターを毎朝作り直すのは面倒ですし、同僚に電話で説明するのも困難です。この Web パーツでは、コマンド ツールバーの **保存済みフィルター** メニューという 1 か所で、この両方の問題を解決できます。

- 現在のフィルターの組み合わせを名前付きのプリセットとして保存し、ワンクリックで再び適用できます。
- 開いたときに現在のフィルターが適用されるページへのリンクをコピーできます。
- 管理者は、さらに Web パーツが前回のフィルターを記憶し、次回の訪問時に復元するように設定できます。

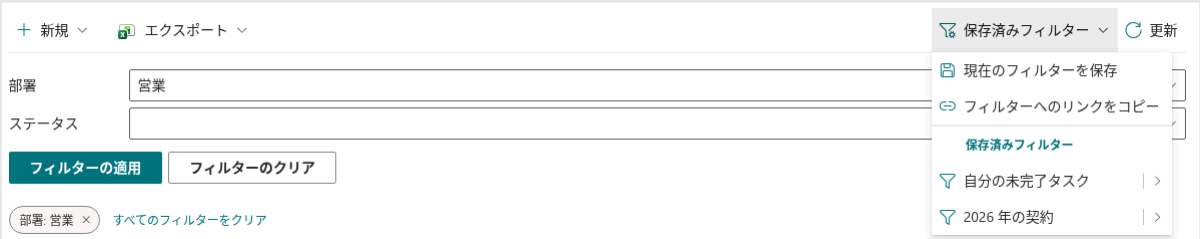
この記事では、これらの各機能、保存されるデータの場所、およびそれが実際に何を意味するかを説明します。ページを使用するユーザー向けに書かれており、関連する管理者設定は専用のセクションでのみ触れています。

保存済みフィルター メニュー

保存済みフィルター は、コマンド ツールバーの右側、**更新** の隣にあります。クリックするとドロップダウン メニューが開き、次の項目が表示されます。

- **現在のフィルターを保存** - 有効なフィルターをプリセットとして保存します。
- **フィルターへのリンクをコピー** - フィルター済みビューへのリンクをクリップボードにコピーします。
- 区切り線に続いて、保存済みのプリセット (1 プリセットにつき 1 項目)、またはプリセットがない場合は **保存されたフィルターはまだありません** というテキスト。

現在のフィルターを保存 と **フィルターへのリンクをコピー** は、フィルター ペインまたは列ヘッダーからのフィルターが 1 つ以上有効な場合にのみ使用できます。有効なフィルターがない場合、どちらの項目も無効になります。



2 つのプリセットがある 保存済みフィルター メニュー

メモ

保存済みフィルター メニューはコマンド ツールバーの一部です。管理者がページでツールバーを非表示にしている場合、このメニューは使用できず、プリセットやフィルター リンクも使用できません。

現在のフィルターを保存する

1 必要なフィルターを、フィルター ペイン、列ヘッダー、またはその両方で設定し、適用されていることを確認します (テーブルの上のフィルター チップに表示されます)。
2 **保存済みフィルター** を開き、**現在のフィルターを保存** をクリックします。
3 ダイアログの **フィルター名** ボックスに名前 (最大 80 文字) を入力し、**保存** をクリックします。名前にスペース以外の文字が 1 文字以上含まれるまで、**保存** ボタンは無効のままです。**キャンセル** をクリックすると、保存せずにダイアログが閉じます。

新しいプリセットは、すぐに **保存済みフィルター** メニューに表示されます。同じ名前で別のフィルターを保存すると、以前のプリセットが置き換えられます。



現在のフィルターを保存 ダイアログ

プリセットを適用する。 **保存済みフィルター** メニューでプリセットの名前をクリックします。プリセットのフィルターが、その時点で有効なすべてのもの (ペインや列ヘッダーからのフィルター) を置き換え、テーブルが最初のページから再読み込みされます。適用されたフィルターはチップとして表示されます。

プリセットを削除する。 各プリセット項目は分割ボタンになっています。名前をクリックするとプリセットが適用され、右側の矢印をクリックすると **削除** を含むサブメニューが開きます。削除するとプリセットは確認なしですぐに削除されますが、現在適用されているフィルターは変更されません。

> **メモ**
>
> プリセットにはフィルター条件が保存されます。適用すると、フィルター ウィンドウの対応するコントロールが復元され、適用された条件がチップとして表示されます。さらに変更を適用する前に、ウィンドウの内容を確認してください。

プリセットの保存場所

プリセットは、作成した **Web パーツ** インスタンスおよびリストと関連付けられて、ブラウザーのローカル ストレージに保存されます。**SharePoint** リストやユーザー プロファイルには何も書き込まれません。そのため、保存は即座に行われますが、次のことを知っておく必要があります。

警告

保存済みのプリセットは、1 台のデバイスの 1 つのブラウザーにのみ保存されます。ブラウザー間やデバイス間で同期されず、ブラウザーのサイト データを消去すると消えます。プライベート ウィンドウまたはシークレット ウィンドウでは、通常、プリセットのない状態から始まります。また、プリセットは特定のページの特定の Web パーツに紐付けられています。別の Web パーツや別のページで同じリストを表示している場合は、それぞれ独自のプリセット セットを持ちます。

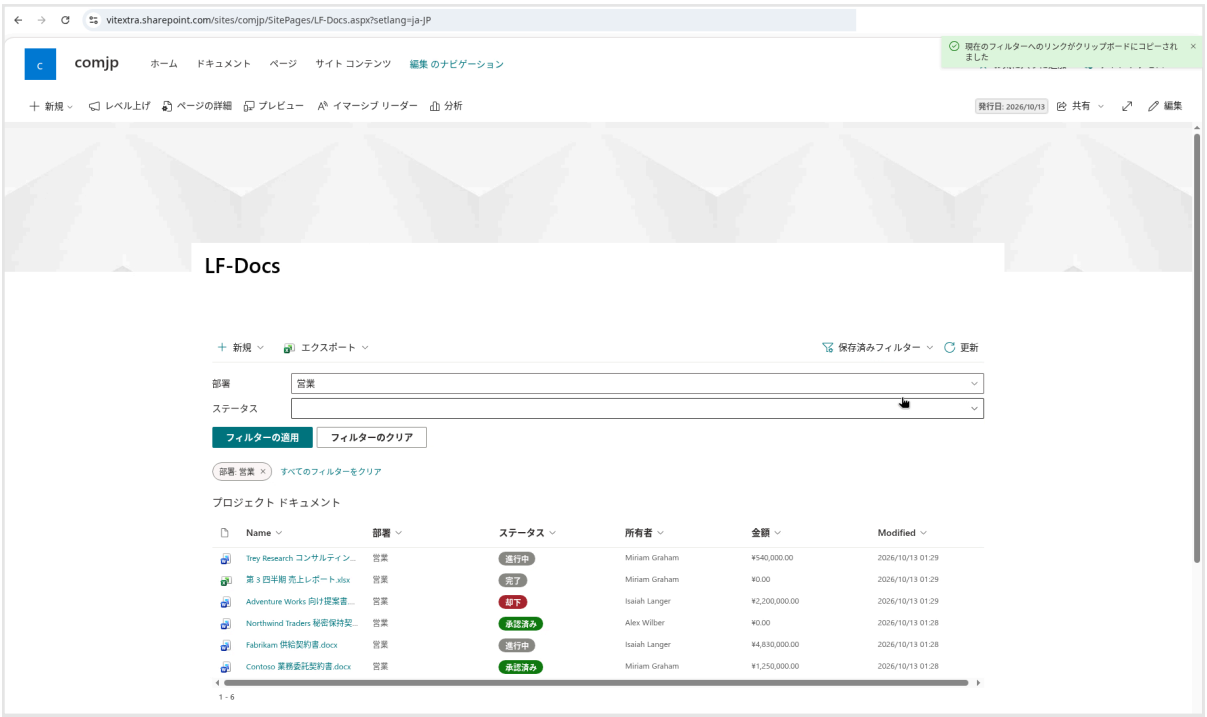
プリセットが、リストに存在しなくなった列を参照している場合、プリセットの適用時にその条件はスキップされ、残りの条件は通常どおり適用されます。

フィルターを同僚と共有したい場合や、ブラウザーに依存しないようにしたい場合は、代わりにフィルター リンクを使用します。

フィルターへのリンクをコピーする

フィルターへのリンクをコピー は、現在のページのアドレスにクエリ文字列パラメーター `lff` を 1 つ追加したアドレスを作成し、クリップボードにコピーします。緑色のメッセージ *現在のフィルターへのリンクがクリップボードにコピーされました* で操作が確認できます。このパラメーターにはフィルター条件が圧縮された形式で含まれているため、複数の条件があってもリンクは比較的短く保たれます。

リンクは、それを作成した Web パーツに宛てたものです。誰かがリンクを開くと、その Web パーツがパラメーターを読み取って条件を適用し、アドレス バーからパラメーターを削除します。これにより、ページを再読み込みしたり、後で **戻る** ボタンを使用したりしても、ユーザーがその後に行った変更の上にフィルターが再適用されることはありません。



フィルター リンクがコピーされたことの確認

次の点に注意してください。

- リンクは条件を適用するだけで、アクセス権は付与しません。リンクを開いた同僚には、アクセス許可のある項目のみが表示され、ページ自体にもアクセスできる必要があります。
- リンクは、ページを開いたときに 1 回だけ適用されます。その後は、ユーザーが通常どおりフィルターを変更または解除できます。
- ページに複数の List Filter Online Web パーツが含まれている場合、リンクを作成した Web パーツだけがフィルターを適用し、他の Web パーツは独自の状態を保ちます。ページ外で作成されたリンク (最後のセクションを参照) は、ページ上の任意の Web パーツに宛てられており、それぞれの Web パーツで適用されます。
- リストに存在しなくなった列の条件はスキップされます。

ヒント

フィルター リンクは、リストに手を加えずに「**ビュー**」を公開する便利な方法です。*未完了の契約*、*今月期限を迎える契約*、*法務部に割り当てられた契約* などのリンクをニュース投稿、Smart Tiles パネル、メールに配置すると、各リンクは同じページを異なるフィルターを適用した状態で開きます。

前回のフィルターを記憶する

管理者は、Web パーツの設定の **フィルター ウィンドウ** グループで、**ユーザーの前回のフィルターを記憶する** をオンにできます。このオプションがオンの場合、Web パーツは、ペイン、列ヘッダー、プリセット、リンクのいずれかから適用したフィルターを保存し、次回ページを開いたときに復元するため、前回の続きから作業できます。

この動作の詳細は次のとおりです。

- 記憶されたフィルターは、プリセットと同じ場所、つまりこの Web パーツとこのリストについて、お使いのブラウザーに保存されます。別のブラウザーやデバイスには引き継がれません。
- フィルター リンクが優先されます。`lff` パラメーター付きのリンクからページを開くと、記憶されたフィルターの代わりにリンクの条件が適用され、それが新しい記憶されたフィルターになります。
- フィルターが復元されないようにするには、ページを離れる前にフィルターを解除します。ペインの **フィルターのクリア** か、チップの下の **すべてのフィルターをクリア** を使用します。空のフィルターは「フィルターなし」として記憶されます。
- 管理者がこのオプションをオフにすると、保存されたフィルターは破棄されます。

メモ

ページが常に想定外のフィルターが適用された状態で開く場合は、テーブルの上のフィルター チップを確認してください。復元された内容が正確に表示されています。**すべてのフィルターをクリア** をクリックすると、フィルターなしのビューに戻ります。

List Filter で開く コマンドで作成されるリンク

製品パッケージには、ネイティブの SharePoint リストおよびライブラリ用のコマンド **List Filter で開く** も含まれており、管理者がテナントで有効にできます。このコマンドは、List Filter Online Web パーツを配置したページを新しいタブで開き、ネイティブ リストで選択した項目を、同じ `lff` パラメーターを通じてフィルター (*ID が次のいずれかに一致 ...*) として渡します。このようなリンクは、対象ページ上の任意の List Filter Online Web パーツに宛てられています。このコマンドとそのセットアップについては、KB10254. SharePoint 標準のリストから選択した項目を

List Filter Online で開くで説明しています。

用語

SharePoint

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

Web パーツ

Web パーツは、SharePoint ページに配置される機能やコンテンツの主要な構成要素です。Web パーツの中には、Web パーツの構成や外観の変更など、カスタマイズをサポートするものがあります。

ビュー

ビューは、リストまたはライブラリのどのアイテムをどのように表示するか (列、並べ替え、フィルター処理、グループ化、レイアウトを含む) を決定する、保存された構成です。ビューには、個人用ビューと公開ビューがあります。